

# 第2回信濃川環境大河塾 大河・信濃川の環境を、一緒に考えてみませんか

## 河川環境を考えるダム見学ツアー



夏場は洪水時以外、一滴の水も流れない無水区間の犀川

信濃川は、長野県から新潟県を流れ、日本海へ注ぎ、長さ367km、流域面積11,900km<sup>2</sup>、年間流量約160億m<sup>3</sup>を有する、日本を代表する大河です

※集合場所と時間：①新潟駅(AM7:00)、②十日町駅(AM8:50)、③長野駅(AM7:30)

日時：2011.8.23(火)～24(水) 締切り 7月30日

参加費：¥8,000円(1泊2日4食付)

宿泊地：長野市大岡 聖山パノラマホテル (360度大自然の聖地)

募集数：30名 (ツアー開催の最少参加者数15名)

コーディネータ：大熊 孝(新潟大学名誉教授・NPO 法人新潟水辺の会代表)



NPO 法人新潟水辺の会代表、水郷水都全国会議共同代表、映画『阿賀に生きる』制作などに取り組む。主な著書に、『利根川治水の変遷と水害』(東京大学出版会)、『洪水と治水の河川史』(平凡社)、『川がつくった川、人がつくった川』(ポプラ社)、『技術にも自治がある』(農文協)、共著に『日本のダムを考える』(岩波ブックレット)、『ローカルな思想を創る』(農文協)などがある。



水利権停止で、一時的に水量豊かな姿が戻っている信濃川  
2009年にはラフティングツアー下りが行なわれた。



◆ 主催 NPO 法人 新潟水辺の会 お問合せ先 新潟水辺の会 加藤 功 電話 025-230-3910

● この事業は三井物産環境基金の助成を受けて実施しています

※ 新潟駅、十日町駅、長野駅いずれかよりご参加ください

E-mail ecoline@mvd.biglobe.ne.jp

# 第2回信濃川環境大河塾

## 河川環境を考えるダム見学ツアー

信濃川は、長さ 367km を有する日本を代表する大河です。1930 年代に始まった国策の電源開発事業によってダムや発電所が作られ、信濃川・千曲川は一変しました。支川の犀川では、発電による取水のため洪水時以外、ダム直下は一滴の水も流れない無水区間やほとんど流水のない減水区間ができました。また、信濃川中流域では、西大滝ダムから JR 宮中ダムを経て小千谷発電所までの間の約 63km の減水区間も生まれました。

その結果、鮭やアユなどの魚類の遡上・降下が断たれ、川は水生生物の気配もなく、人との関わりの無い川になっています。一方、JR 宮中ダムで作られた電気は、首都圏を走る電車の 23% を賄っていますが信濃川沿いの JR 飯山線ははまだ電化されず、これらのことを首都圏の人達はほとんど知らない状況です。

なお、近年、この減水状況を解消するため、西大滝ダム、宮中ダムからの維持流量を増やすことが検討され、現在、その水利権の改訂作業が進んでいます。

この信濃川・千曲川・犀川のダムの現状を見学、自らの目と身体で実感して、魚が棲み、水生植物が茂り、人との関わりのある本来の「川らしい川とは何なのか」を考えるツアーです。自然災害、エネルギー(水力発電)、河川環境について一緒に考えてみませんか。

1 日目 (8月23日/火)

- 新潟駅(南口) 集合 AM 7:00 出発 7:10 バスで十日町駅へ向かう
- 十日町駅 集合 AM 8:50 出発 9:00 新潟からのバスに合流
- 長野駅前 集合 AM 7:30 出発 7:40 バスで宮中ダムへ、新潟組に合流

- ◎ 宮中ダム見学 ⇒ ◎ 東京電力信濃川発電所見学 ⇒ ◎ 3.12 長野 新潟 県境地震災災害地 栄村で地震災害地を見聞 昼食 ◎ 西大滝ダム見学
- ◎ 小田切ダム見学 ⇒ ◎ 水内ダム見学 ⇒ ◎ 東京電力犀川総合制御所
- ◎ 平ダム見学 ⇒ ◎ 生坂ダム見学 ⇒ 17:30 聖山パノラマホテル 宿泊は、標高 1,200m にある聖山パノラマホテルです。360 度の大自然がおりなす聖地をゆっくりと楽しんでください。

2 日目 (8月24日/水)

- 大河塾ワークショップ AM 9:00～PM 1:00 (昼食後バスで長野駅へ) 異論・反論・対論 「自然災害・エネルギー(水力発電)・河川環境を討議する」 長野市大岡 聖山パノラマホテル 食堂にて
- 長野駅からの参加者は、長野駅へお送りします
- 十日町駅からの参加者は、長野駅⇒十日町駅(飯山線の乗車券は主催者が負担)
- 新潟駅からの参加者は、信越經由北陸自動車道 新潟駅着 18:20 (解散)

第2回信濃川環境大河塾 参加申込書 (締切 7月30日)

この表を 025-264-3260 に FAX するか、下記の問い合わせ先へ同内容をメールしてください。

フリガナ	住所	集合駅
氏名		
所属	電話	携帯
研究室など	E-mail	

- ※ 新潟駅、十日町駅、長野駅などへの往復交通費は自己負担となります。
- ※ 主催側で傷害保険をかけています
- ※ いただいた個人情報は、この行事に関わる名簿整理の他には使用いたしません

お問合せ先 新潟水辺の会 加藤 功 電話 025-230-3910 E-mail ecoline@mvd.biglobe.ne.jp